

市報 第178号

50年 1月

たかはぎ

発行と編集 高萩市役所市長室
担当・市民相談係
高萩市本町1-100(電話) 3-2111



あけまして

おめでとう

ございます

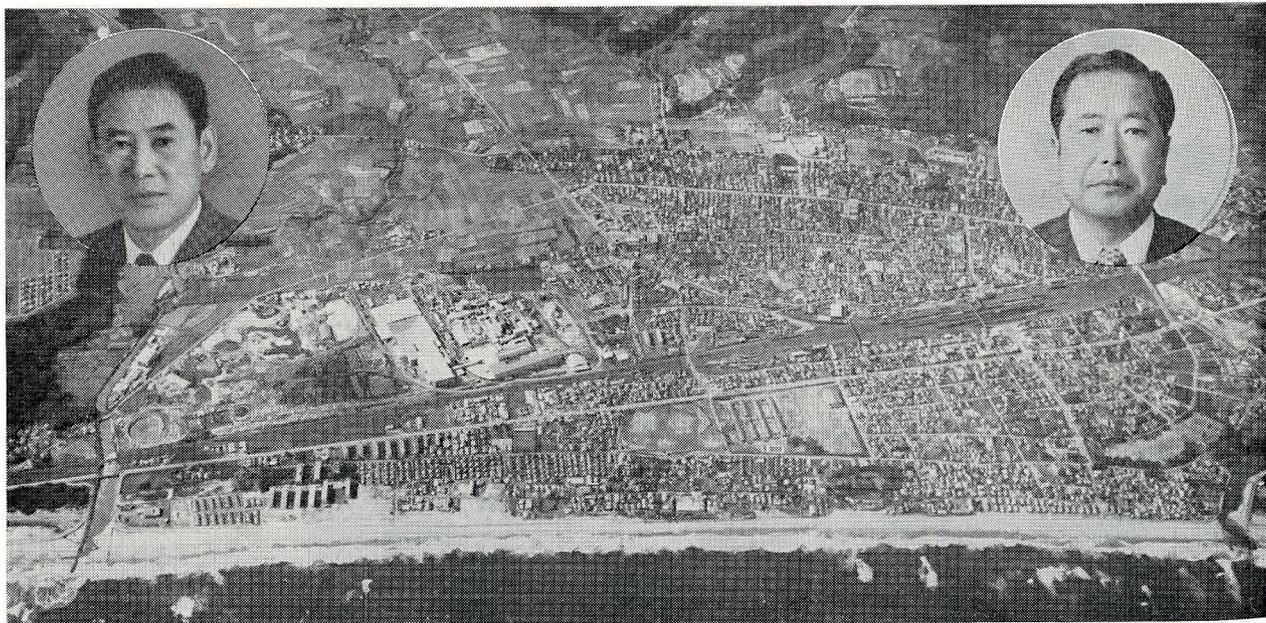
ことしは 飛躍の年です

みなさまにとりまして

健康で しあわせ多い

年であることを祈ります

ことしはうさぎ年 ピョンピョンと元気です 一高萩保育所で写す一



高萩市議会議長 棚谷立夫

高萩市長 鈴木藤太

昭和五十年の希望と輝きに満ちた新春を迎え、三万市民の皆さまと共に心からお祝い申し上げます。私は、昨年十二月の第四回高萩市議会定例会におきまして議長改選にあたり、はからずも市議会議長の要職を担うことになりました。もとより、浅学非才その器ではありませんが、せつかくのご信託にこたえるべく誠心誠意努力いたす所存でありますので、今後ともなお一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申しあげます。

かえりみまして、昨年は記念すべき市制二十周年を迎え、計画された諸事業と高萩市総合振興計画

間を通して、皆さまとの間に心のふれあいがさらに深まったことを感ずるとともに、一期末に対する反省、皆さまとの間に覚えた感動等、数々の貴重な体験をさせていただきました。この体験を誠実に今後の市政に生かすことこそ、市民の審判におこたえするため一番大切なことだと信じております。いま、高萩市は皆さまとともに築いて来た新しいまちづくりの基盤の上に、市民のしあわせのため解決しなければならぬ数多くの問題をかかえております。また一方では、現在の地方自治体のおかれてる立場は、昨今の社会経済情勢のきびしい制約のもとにおかれ容易でないものがあります。

あけましておめでとうございませす。昨年は市制施行二十周年をはじめ、市民のまごころと数多くの感激の思い出を残した国民体育大会の開催や、年末の市長、市議会議員補欠選挙、県議会議員選挙などたいへんあわただしい年でした。特に市長選挙にあたりましては皆さまのご支援を得まして、再び市政担当の任にあたることになり責任の重大さを感じますとともに私に寄せられたご厚情とご支援に対し、心からお礼を申しあげる次第であります。

今回の改選にあたり、私は市民とともに歩む市政を心がけた四年

私に、このようなときこそ政治の責任の重大さを強く感ずるとともに、確かなビジョンをかかげ市民一体となつて自らのまちを築いて行く意識に徹し、力強く進むことが大切であると信じております。私は、市政担当の基本理念としております「愛と誠」の精神をもつて、昨年十一月一日制定された市民憲章に示された市民の心意気を、市政に生かすべく決意を新たにして、この新しい年に向かい邁進する覚悟でございます。どうか議会ご当局、市民各位におかれましても旧に倍するご指導ご鞭撻とご協力を賜りますようお願い申しあげ、新年のごあいさつといたします。

発と山村地域の開発促進、農業経営の安定、下水道をはじめとする生活環境の整備充実、さらには明年度に控えた全国植樹祭の準備等重要問題が山積してあります。私も議会はさらに心を新たに

して、常に市民の皆さまの立場に立つて議会本来の使命を果してまいりたいと存じます。市民の期待する議会の運営に十分意を用い、執行部とともに今後の重点施策を積極的に推進してまいる所存でありますので、なお一層のご支援

ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。三万市民の皆さまのご健康をお祈りいたしまして、新年のごあいさついたします。

第4回(12月)定例市議会

議長に棚谷立夫さん

副議長には大部薫さん

第4回(12月)定例市議会は、12月17日から24日まで8日間の会期で開かれましたが、議会の申し合せで任期1年となつている、正副議長の改選が行なわれました。

その結果、議長に棚谷立夫さん(58)秋山244、副議長に大部薫さん(63)中戸川1878がそれぞれ選出されました。

これにより、常任委員会の経済委員長には根本栄さん、公害対策特別委員長に鈴木茂さんが、また監査委員(議会代表)には小山政男さんが選ばれました。

なお、昨年の市議会議員補欠選

挙で選ばれた、小田木真一さんと大部勝央さんは文教厚生委員会に矢代洋三さんは建設委員会に選任されました。

県議会議員に

大久保清さん当選

県議会議員選挙は12月15日行なわれましたが、高秋市選挙区(十

王町も含む)では、大久保清さん(44)上手綱1111(日本社会党新)が当選しました。

高秋市の当日有権者は21,0

12人で、投票者は15、752人、投票率は74・97%、十王町は有権者6、922人で、投票者は5、512人、投票率79・63%でした。得票数は次のとおりです。

当 大久保 清	10、917票
高秋市	8、043票
十王町	2、874票
大高 徳次	10、221票
高秋市	7、626票
十王町	2、595票

国体写真など掲示

市役所で1月20日から

昨年開催された国民体育大会や市民歩く会などの写真を掲示しますからぜひごらんください。

なお、このうちの写真を希望す



たかひぎの植物

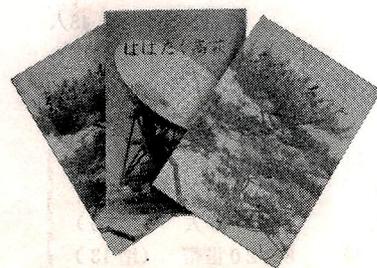
ウラジロ (シダ植物)

ウラジロは、新年を祝うえんぎものとしてなじみ深いものです。そのわけは①ツヤのある葉が霜雪に耐えて枯れることなく、生き生きとして裏が白く潔白をあらわす②毎年出てくる2枚の葉が向き合つて、夫婦の相愛、相生・生老(あいおい)を祝う③2枚つづる葉は2・3年枯れずについているので、その家の代々の弥栄(いやさか)を寿ぎ、子孫の繁栄を祝う心に通じているなどからのようです。

もともとは暖帯植物ですが、アジア、濠洲の熱帯にまで分布しています。茨城県あたりでは、胞子ができ発芽しても冬が越せないで、地下茎が伸びて増えるだけで、現在、太平洋側で福島県末統駅付近、日本海側で新潟県が北限になっています。また、シダは羊歯(小さい葉が羊の葉に似て密生している)歯菜(その葉が垂れている)の字があてられています。

市制施行20周年を記念して
郷土読本
「高萩のあゆみ」が完成
配付中

※市の全世帯に各常会長を通じて昨年11月に配付をしましたが、常会に入っていない人やまだ届かない人には教育委員会、市民相談室でお渡ししますからおいでください。(無料)



市駅伝大会で
永年出場者を表彰

第23回体力づくり市民駅伝大会は12月8日、23チームが参加して市役所、関口、和野の円形コース31キロ(2周)で健脚を競いました。成績は次のとおりでした。

- 一般の部 ①日本加工製紙②日加青婦部③KDK
- 高校の部 ①高秋工業高校サツカー部A②高秋高校③高秋工業高校サツカー部B
- 中学校の部 ①高萩中A②秋山中A③高萩中B

なお、開会式で、この市民駅伝大会に10回以上出場した次の4選手に、それぞれ表彰状とメダルが贈られました。

渡辺正さん(12回) 齊藤恒悦さん、津谷順三さん、佐藤明人さん(以上10回) いずれも日本加工製紙

県最低賃金は

1日 1、610円

茨城県最低賃金(茨城県内の事業所に働くすべての人びとに適用される最低賃金)が、このたび1日1、610円(パートタイム1時間給労働者は1時間201円25銭)に改正され、昭和50年1月20日から発効することになりました。詳しいことは最寄りの労働基準

市立幼稚園児を募集

申込みは1月25日まで

市立幼稚園の園児を募集します。入園できるのは、昭和44年4月2日から45年4月1日までに生まれたお子さんで、市内に住んでいる方に限ります。

入園を希望する方は、1月16日から各幼稚園で入園願書をお渡しますので、期限に遅れないよう各幼稚園に申込んでください。受付期間は1月20日午前9時から1月25日正午までです。

なお、石河原、行人塚地区の方は第一幼稚園に申込んでください。

詳しいことは市教育委員会学務課(☎③1131番)または、直接各幼稚園にお問合せください。

◎募集人員	第一幼稚園	120人
	東幼稚園	80人
	松岡幼稚園	40人
	秋山幼稚園	40人

保育所に入るお子さん

の受付ははじめます

今春4月、保育所に入るお子さんを募集します。入所できる方は、市内に住んでいて、家庭の事情などにより保育できないお子さんです。

入所を希望する方は、市福祉事務所で申請書をお渡ししますから、前年度課税証明書(市税務課発行)を添えて市福祉事務所(☎内線285番)に申込んでください。

◎受付 1月25日午前8時30分から
2月10日午後5時まで

◎募集人員			
市立高萩保育所	3歳以上児	60人	
市立秋山保育所	3歳未満児	6人	
	3歳以上児	64人	
私立同仁東保育所	3歳未満児	18人	
	3歳以上児	72人	
私立聖徳保育所	3歳未満児	12人	
	3歳以上児	48人	

市の人口と世帯数

	12月1日現在	前月比
人口	30,349人	(増57)
男	14,900人	(増31)
女	15,449人	(増26)
世帯	8,120世帯	(増13)



簡易保険「愛の基金」

にご協力ください

市社会福祉協議会では、昭和48年8月に簡易保険愛の基金を設立しました。これは、市民の皆さんが郵便局の簡易保険に加入されると、団体加入扱いとして毎月5%の割引額が基金として積立てられます。そしてその基金は、精神薄弱児で学校に行けない人びとが、社会参加をするための通園施設の建設資金にあてられます。

市では、いまこの施設を開園する計画をたてていますが、財政的な問題もありますので、この愛の基金の運動をひろげて全面的に協力しようとしています。

いま、簡易保険に1人月額1万円の契約をしますと、年間6,000円の基金となりこれが10人なら6万円、100人なら60万円2年間では1,200万円にもなるものです。

市民の皆さん、簡易保険愛の基金にどうぞご協力くださるようお願いします。

この申込みには郵便局員が直接お伺いしますから、高萩郵便局貯金保険課(☎②2869)までご連絡ください。

市民・親子スキー教室

を開きます

市民の体力づくりとスポーツ振興のため、次のようなスキー教室を開きますからご参加ください。

◎親子スキー教室
とき 2月8・9日
ところ 福島県猪苗代スキー場

今月の納税

市県民税 (4期)
国民健康保険税 (4期)

会費 7,000円(親子共)

資格 親子1人ずつで、こどもは小学1年生から中学3年生まで

募集人員 40組

受付 1月6日~2月3日

○市民スキー教室

とき 2月16・17・18日

ところ 福島県猪苗代スキー場

会費 8,500円

資格 初心者対象、一般勤労青少年

募集人員 40人

受付 1月10日~2月10日

※申込みや問合せについては、市教育委員会(☎⑩1131番)へどうぞ。

受給資格者は申請を

母子家庭医療費(無料)

市では昭和49年4月から、母子家庭の18歳未満の児童が、保険による診療を受けたとき支払った一部負担金相当額を、皆さんの申請によつて支給する制度を実施していますが、まだ受給資格の申請をしていない方がみられますので、該当すると思われる方は早めに申請するようお願いいたします。

申請に必要なものは、健康保険証と印鑑です。

詳しいことについては、市保険年金課医療福祉係(☎内線225番)でおたずねください。

国民年金保険料が

1月から1,100円に

国民年金保険料が、昭和50年1月から引上げられます。いままでは1カ月900円でしたが1,100円になります。

これは、改正による年金制度が充実したスライド制の実施で、支給される年金額がアップされたことや、毎年年金を受ける人たちが増えていることなどのため、どうしても引上げなければならないのです。

保険料がアップされたといつて滞納しないように、納期限には必ず納めるようお願いいたします。

また、いろいろな事情などでどうしても納められない場合は、免税制度もありますから、市保険年金課国民年金係(☎内線224)にご相談ください。